

平成20年3月7日

経済産業省製造産業局
紙業生活文化用品課長 加藤 庸之 様

特種東海ホールディングス株式会社
取締役社長 安本 昌司

非木材パルプ配合紙製品の実態調査に対する回答書

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、古紙配合率の件に始まり、非木材パルプを配合した製品においても社会の信頼を裏切る結果となり反省すると共に、消費者の皆様をはじめ関係の方々に多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、ここに深くお詫び申し上げます。

さて、お問い合わせいただいております、内容につき下記の通りご回答申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 非木材パルプ配合率を表示している紙製品について、表示されている配合率に規定されている基準を満たしていないものを提供していないか。

ご回答

弊社におきましては、古紙配合率実態調査を実施する過程において、対象を古紙から非木材パルプにまで広げ調査を進めてまいりましたところ、非木材パルプ製品の一部にも表示との乖離のあることが判明いたしました。この事実は2月17日に新聞等で公表いたしますと共に、1月30日付でご指示のありました「古紙配合率の追加実態調査」にこの内容を加え、2月20日にご報告をさせていただきました。

2. 非木材パルプ配合を表示しているが、配合率を表示していない紙製品について、契約相手方に周知することなく仕様契約書に示された基準を満たしていないものを提供していないか。

ご回答

配合率を表示しているため、本項に該当のものはございません。

3. 上記1. 2. について、仮に基準を満たしていないものを提供していた場合には、その銘柄別の供給量及び供給開始時期、並びに、そのような事情が生じた原因は何であったか。

ご回答

「古紙配合率の追加実態調査」のご回答（2月20日提出）にて、原因と非木材パルプ使用の全銘柄の詳細についてご報告をさせていただいており、前回提出のものと同様になってしまいますが、再度ご報告（別紙）させていただきます。

なお、原因については、前回以下のとおりご報告させていただきました。

<バガス・ケナフ>

乖離の原因は、「要求品質を維持するための製造技術が不足していた」、「原料供給先の生産停止により調達が困難となった」、「調達先変更により原料品質が低下した」ことによるものです。

<わら・バンブー>

乖離の原因は、製品の品質維持の考え方を優先させたことによるものです。

<コットン>

乖離の原因は、品質を維持するための良質な原料調達が困難であったことによるものです。

また、供給量については、下記をご参照いただきたくお願い申し上げます。

区分	品種	非木種類	配合率(%)			生産量 t/月
			公称	実配合	乖離	
印刷用紙	高級印刷紙	バンブー	20~100	87	なし	6.5
		バガス	30	28	なし	0.9
		羊毛	25	23	なし	0.6
		リンター	10~100	45	なし	7.6
	計					15.6
	高級印刷紙	ワラ	50	35	あり	8.5
		バンブー	20	14	あり	56.9
		ケナフ	20~50	2	あり	57.0
		バガス	50~100	10	あり	31.2
		コットン	70	0	あり	1.7
計					155.3	
衛生用紙		バガス	10~20	0	あり	94.6
	計					94.6

*配合率（実配合）は各種類における原則直近5ロットの加重平均です。

*生産量は過去1年間(H19/1~12)の月平均です。

以 上